



愛寿会だより

春号
第 258 号
令和 7 年
2 月発行

令和 7 年 1 月 6 日に新春餅つき大会が盛大に開催されました。

歴史を礎に、未来を創る

社会福祉法人 愛寿会
理事長 小宮山 光彦

令和七年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。
当会は昭和四十七年七月に社会福祉法人愛寿会を設立し、今年で設立五十三年目を迎えることとなります。これもひとえに多くの関係者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

日本社会全体では、人口減少が続く、高齢化率は向上するものの高齢者人口の減少が見込まれていきます。そのため、高齢者福祉施設は、利用者様やそのご家族から選ばれるために、より質の高い介護サービスを提供することが重要です。

現在、社会福祉法人を取り巻く環境は、人材不足や物価高騰など厳しい状況にありますが、当会としても利用者様やそのご家族に誠実に接し、その立場に立って考え行動することが求められています。特に職員不足が深刻であり、現在は外国人技能実習生や特定技能労働者を十八名受け入れて業務を遂行しています。外国人スタッフは真面目に業務に取り組みんでおり、介護福祉士の資格取得に向けた研修にも励んでいます。彼らの活躍は安定的な運営に大いに貢献すると期待しています。

また、質の高い介護サービスの提供を目指し、情報通信機器を活用して介護・健康状態の記録の充実を図るため、山梨県内の高齢者施設で最も多い、百六十九台の「眠りスキャン」を導入しました。この機器により、入所者様のベッド上での状態をリアルタ

イムで把握でき、必要な介護サービスを効率的に提供することが可能となりました。

その結果、夜勤者の負担軽減や入所者様の見守りの充実に繋がり、職員の意識改革や組織の体制整備も進められる環境が整いました。

医療・介護現場のデジタル化は必須であり、他に先駆けての取り組みとその有効活用は、新たな介護サービスの基本となります。これにより、入所者様やそのご家族にも安心していただけるかと考えています。しかし、新型コロナウイルスなど感染症の予防対策も引き続き重視し、利用者様の安心安全を確保する努力を続けてまいります。以前のように、利用者様のご家族が自由に施設内で交流できる日が戻り、各種イベントも盛大に開催できる事を目指しています。今後も、民設民営施設の先達としての責任と自覚を忘れることなく「愛寿会三つのモットー・七つの誓い」のもと、役職員が一丸となって職務を全うし、さらなる発展を目指して努力してまいります。関係各位の皆様には、変わらぬご支援とご理解、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



百寿のお祝い

令和七年一月二十八日・二月七日、北杜市より百寿のお祝いをして頂きました。

いつまでも元気に楽しく過ごして頂けるように、職員一同精一杯お世話をさせて頂きます。

お健やかにご長寿を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。



特別養護老人ホーム仁生園

新年の書初め大会

～ 思いを込めて一文字ずつ ～

新年を迎え、毎年恒例の書初め大会を一月一日に行いました。「あ・け・ま・し・て・お・め・で・と・う」の一文字ずつを入所者様に書いていただきました。園に入所されて初めて書初めに参加された方々は、「久しぶりに筆を持ったからうまく書けないよ」と言いながらも、楽しそうに筆を進める様子が見られました。

また、「私に書けるかな」「なんて書けばいいのかな」と不安そうに入所者様もいらつしやいましたが、職員が隣に付き添い、声を掛けながら行っていました。文字を書き終わると、自分の書いた文字を見ながら「昔はもっと上手に書けたのに」と懐かしむ様子もありました。

今年も良い年になるようにと、思いを込めた書初め大会は、入所者様にとって気分転換の機会となりました。今後も入所者様が楽しく過ごせるよう、職員一同支援していききたいと思えます。

仁生園の節分祭り

～ 福を呼び込み

笑顔あふれる日々へ～

令和七年二月二日、今年も各フロアで豆まきを行いました。青鬼・赤鬼に扮した職員に向かつて「鬼は外！福は内！」と元気いっばいに豆を投げる姿が見られました。その迫力に圧倒された鬼たちは、しぶしぶ逃げ出しました。

無病息災を願う「節分」のイベントですが、皆様はどのように過ごされましたか？

仁生園では、今年も多くの福を呼び込み、入所者様が笑顔で過ごせる日々を提供できるように、職員一同真心を込めて支援していききたいと思っております。年の数ほど…とはいきませんが、節分豆もおやつとしておいしくいただきました。



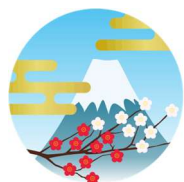
グループホーム やすらぎ

年末年始、感染症対応の影響で延期されていた「新年お楽しみ会」を一月二十七日に開催しました。入居者様の皆様による貼り絵作業のおかげで「やすらぎ大社」がやすらぎ内に完成しました。

今年の年女である進藤様に神主に扮していただき、新年の挨拶を行い、全員で参拝しました。それぞれの思いを込めて本坪鈴を鳴らし、二礼二拍手一礼を行い、初詣の気分を味わいました。またおみくじを引き、ちょっとした楽しみも提供しました。

お昼ご飯には、皆さんのリクエストに応じてちらし寿司を作りました。

錦糸卵、桜デンプ、エビ、いくらといった色とりどりの具材を寿司桶に盛り付けると、歓声が上がり喜んでいただけました。お吸い物や和風ハンバーグも添え、ほとんどの方が完食されました。



午後のレクリエーションでは、紅白に分かれて玉入れを行いました。職員がかぶる花籠に向けて玉を投げる単純なゲームですが、皆さん身を乗り出し、普段伸びない手を精一杯伸ばして一生懸命に玉を入れようとする姿が見られ、楽しんでいただけました。

今年も皆様の元気な笑顔にあふれる一年にしていきたいと願っています。



グループホーム こあらま

昨年の十二月二十五日、クリスマス会とクリスマス会食を開催しました。職員がサンタクロースに扮し、手作りのタオルマスケットとカゴのプレゼントを一人一人に渡しました。皆様から「かわいい」との声が上がり、とても喜んでいただけました。クリスマスの歌を歌ったり、一人一人と写真を撮ったりして楽しい時間を過ごしました。

クリスマス会食では、フライドチキンなどのクリスマスメニューが提供され、皆様が完食されました。



星のチョコが重なったチョコレートケーキも好評で、笑顔が絶えませんでした。

また、一月にはおせち会食を行いました。筑前煮、黒豆、伊達巻、栗きんとん、なますなど、おせちらしい料理を用意しました。お重に入ったおせちを見て、皆様は目を輝かせ、「これ全部作ったの?」「美味しそうだね」と、とても喜んでいただけました。食べ終わった後には「おいしかったよ」「また食べたいね」との声が聞かれ、作った職員も自然と笑顔がこぼれました。季節にちなんだ料理を提供することで、入居者様にその時々

仁生園デイサービスセンター

く伝統のしめ縄作りく



十二月には、毎年恒例のしめ縄作りを行いました。縄を縛う作業は、頭で理解していても実際にやってみるとなかなか難しいものです。

慣れた手つきで上手に縛う方もいれば、苦戦しながら挑戦する方もいらつしやいました。昔話に花を咲かせながら、皆で協力して立派なしめ縄が出来上がりました。

しめ縄は少し乾燥させた後、別の日に飾りつけを行いました。水引きや南天を飾り付け、素敵なしめ飾りが完成しました。



く色彩豊かな繭玉作りく

一月には繭玉作りを楽しみました。白、ピンク、緑のカラフルなお団子を丸め、「今年も豊かな年になりますように」との願いを込めて枝に飾りました。

また、食べると無病息災で過ごせるという云われのある繭玉をおやつとしていただき、皆さんの笑顔がこぼれるひとときとなりました。



く美声に魅せられてく

一月には「四つ葉のクローバーの会」の皆さんが来園し、歌と踊りを披露してくださいました。全員八十歳以上とは思えない素敵な歌声で「浅草姉妹」や「柔」などの歌を披露し、楽しい時間を過ごさせていただきました。「四つ葉のクローバーの会」の名前の由来は、「四人の苦勞してきたおばあちゃんの会」だそうです。素晴らしい時間をありがとうございました。



第二仁生園

新年祈願祭

令和七年一月二十二日、第二仁生園にて新年祈願祭を行いました。

毎年、地元宮司の清水長治様をお願いをしています。

初めに玄関外で手水をしてから、多目的ホールにて新年祈願祭が次第により粛々と行われました。

一年間、皆さんが無事に過ごせますように。最後に清水様から利用者様・職員へ、「まだまだ寒い日が続きますが健康でお過ごしください」とお言葉を頂きました。

第二仁生園新年祈願祭次第

〔手水〕

修祓

一、一拝

一、降神の饗

一、献饗

一、祝詞奏上

一、清祓 御神火・大祓・三讀歌

一、玉串拝礼(奉奠)

一、撤饗

一、昇神の饗

一、一拝

〔直会〕



マスクとアルコール消毒液の ご寄付を頂きました

令和七年二月十八日、Dog Run Cafe 代表の
関瑞穂様より、マスクとアルコール消毒液を寄
付していただきました。
大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



北杜市立甲陵中学校様から

タオルと石けんのご寄付を頂きました

令和六年一月二十六日、北杜市立甲陵中学校様
から、タオルと石けんのご寄付を頂きました。
毎年のご寄付に心より
感謝申し上げます。大切
に使わせていただきます。



社会福祉法人愛寿会後援会より

後援会にご協力いただき 心から感謝申し上げます

(令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 2 月 28 日)

- ・石岡 リツ子 様
- ・中山 幸男 様
- ・坂本 忠征 様
- ・小松 勲 様
- ・堀内 真弓 様



お心遣いをいただき、 心から感謝申し上げます

(令和 6 年 5 月 16 日～令和 6 年 8 月 20 日)

- ・長谷部 久子 様
- ・板山 賢治 様



愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等が
ございましたら左記までご連絡ください。
仁 生 園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

来園の皆様へのごお願い

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策を
しています。ご不便をおかけ致しますが、ご理解を頂
き、厳守していただく様、お願い申し上げます。

- ◆正面玄関を施錠しております。御用の方はイ
ンターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆最少人数でご来園ください。
- ◆体調に少しでも不安がある方は、事前に来園
をお控えください。

面会に関するお知らせ

☆正面玄関横にてガラス越しでの面会及び、施設外
から「FaceTime」を利用した面会に加え、喫茶
いこいでのアクリル板越しの面会を再開いたしま
した。

- ◆電話による事前予約が必要
です(電話をいただいた日
の一週間後から予約を承り
ます)。
- ◆来園前の二週間は、ご自宅
で体温を測って下さい。
- ◆面会時間帯は午前九時半～十一時の間で十五分
間です。
- ◆少人数での面会にご協力ください。



☆仁生園では、ご家族様をお持ちの iPad、i
Phone を利用した「テレビ電話形式」の面
会が可能ですのでご利用ください。希望される
場合は、ご予約ください。

※感染症の状況に依り、急な面会制限をする場合
がございます。お電話でお問い合わせいただく
か、当法人のホームページにてご案内してあり
ますので、ご利用ください。

求 人 募 集



社会福祉法人 愛寿会

福祉総合生活支援センター 仁生園

障害者支援施設 第二仁生園

介護保険サービス			
特別養護老人ホーム仁生園  定員 132 名	仁生園ショートステイセンター  定員 19 名	仁生園デイサービスセンター  定員 25 名	仁生園介護相談センター  定員 100 名
障害福祉サービス			
グループホームやすらぎ・こあらま  定員 9 名 2 ユニット	障害者支援施設第二仁生園  定員 30 名	第二仁生園ショートステイセンター  定員 3 名	第二仁生園相談支援センター 

【募集内容】

1. 介護職員、生活支援員

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、有資格者平均年収 430 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、夜勤勤務他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

＜シフト内容＞ ●早番 7:00～16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00～17:00 内 1 時間休憩
●夜勤 17:00～9:00 内 4 時間休憩

2. 看護師（正看、准看）

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、平均年収 470 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、オンコール他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

＜シフト内容＞ ●早番 7:00～16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00～17:00 内 1 時間休憩
●遅番 9:00～18:00 内 1 時間休憩

【お電話またはメールにてご相談ください】

連絡先 社会福祉法人 愛寿会 本部事務局 採用担当 統括施設長 竹中まで (平日 8:00～17:00)

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間菅間 1293 番地

TEL:0551-32-3340(代表) FAX:0551-32-3546

URL:<http://www.aijyukai.com>

E-Mail:jinseien@poem.ocn.ne.jp



Facebook



ホームページ